

日本遺産「播但貫く 銀の馬車道・鉱石の道」
馬車乗車イベント業務 仕様書

事業名	馬車乗車イベント事業	管理番号	
団体名	日本遺産「銀の馬車道 鉱石の道」推進協議会		
部署			
作成日		版	
作成者		作成者印	
請負会社名称			
部署			
承認日			
承認者		承認者印	

見積仕様書

対象

馬車乗車イベント事業

作成日

要求区分

要求内容

背景

兵庫県の中央を南北に縦断する播但地域に姫路・飾磨港から生野鉱山へと続く道“銀の馬車道”があります。さらに北部には明延鉱山、中瀬鉱山へと“鉱石の道”が続きます。わが国屈指の鉱山群である全長73kmのこの道は、明治の面影を残す宿場町を経て鉱山まちへ、さらに歩を進めると各鉱山の静謐とした坑道へとつながります。近代化の始発点にして、この道の終着点となる鉱山群へと向かう旅は、鉱山まちが放ついぶし銀の景観と生活の今昔に触れることができ、鉱物資源大国日本の記憶へといざないます。

日本遺産に認定された「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」が、姫路市～養父市の6市町、中播磨県民センター・但馬県民局、3事業者からなる推進協議会により、日本遺産としての魅力発信の取り組みを推進している。

目的

日本遺産「銀の馬車道 鉱石の道」の沿道スポットである、道の駅「銀の馬車道・神河」イベントなどに合わせ、往時の馬車道を馬車で通った様子を体感する機会を提供することにより、日本遺産と馬車道の普及啓発に努め、この地域の魅力を発信していく。

見積仕様書

対象

馬車乗車イベント事業

作成日

要求区分

要求内容

業務要件

1 概要

道の駅「銀の馬車道・神河」イベントなどで、イベント参加者を対象に馬車体験コーナーを設置し、往時の馬車による旅の気分を味わってもらう。

2 費用の見積

下記に記載する2回のイベントで馬車乗車コーナーブースを設置する

- ・馬の用意（エサ代含む）
- ・馬の搬送費用
- ・馬車の用意
- ・馬車の搬送費用
- ・体験ブースを運営する人材の派遣・配置

3 沿道イベント（予定）

（1）道の駅「銀の馬車道・神河」収穫祭

①日時：平成30年11月24日（土）～25日（日）

②場所：兵庫県神崎郡神河町吉富「畑川原池周辺」

③内容：

・道の駅「銀の馬車道・神河」収穫祭に合わせ、現存する銀の馬車道の発掘調査地点である「畑川原池周辺」を起点に神河町杉地内の旧道（約1km往復20分程度）周回道路（7往復/日程度）

（2）沿道イベント2（要調整）

①日時：平成31年3月 日（ ）

②場所：

③内容：

4 その他

（1）馬車のデザイン等の要件

- ・明治初期に往来したと思われる馬車をできるだけ再現したものを使用
- ・老若男女10人程度が乗れる規格

（2）開催イベントについては変更する可能性があります。見積については、そうした事態にも対応できるものとしてください。